

福井県公安委員会 開催概要

令和2年9月3日開催 「定例公安委員会」



会議状況

1 包括的案件

〈報告事項〉

(1) 龍ヶ鼻ダム等における強盗殺人・死体遺棄事件等の被疑者検挙について

県警察から、本年6月に龍ヶ鼻ダムにおいて発見された死体に対する強盗殺人・死体遺棄事件等の被疑者検挙について報告があった。

委員から「ショッキングな事件を速やか解決できたことは非常に良かったと思う。早期解決が安全・安心につながる一つの指針になると思うので、今後とも宜しく願いたい。」との発言があった。

委員から「重い罪を犯している被疑者の犯行の背景等をしっかり解明していただく一方、このような凶悪犯罪が起きない治安体制の構築も合わせてお願いしたい。」との発言があった。

委員から「警察力の評価の一つに迅速性というのがあると思っているので、早期に凶悪事件を解決したということは非常に大きい。早期の事件解決は県民に安全・安心を与えられると思うので、引き続き事件解決に全力を尽くしていただきたい。」との発言があった。

(2) 令和2年度9月補正（案）の概要

県警察から、令和2年度の9月補正予算（案）の概要について報告があった。

委員から「新型コロナウイルスの感染拡大防止対策は警察でも非常に重要である。しっかりと予算を獲得して対策を講じ、県警察での感染を防がなければならない。」との発言があった。

委員から「警察職員と県民が直接接触する場所での新型コロナウイルス感染拡大防止対策は既に済んでいるのか。」との発言があり、県警察から「既決予算内において、飛沫感染予防としてアクリル板の設置や簡易的なビニールカーテンの設置等を整備している。」との説明があった。

委員から「新型コロナウイルス感染拡大防止により変化していく生活様式に合わせ、いろいろな対策を講じていっていただきたい。特に反射材付マスクの配布は、コロナ禍

でマスク着用が習慣となっているので、反射材着用を促進するには非常に効果的な施策だと思う。」との発言があった。

(3) 反射材普及に向けたアンケート調査の結果と今後の方針

県警察から、反射材普及に向けたアンケート調査の結果と今後の方針について報告があった。

委員から「反射材を買ってまで着けない方が多い中、交通事故に遭われた方のほとんどが、反射材を着用したいと意識が変わったことなどを積極的に広報することで着用の意識付けを図り、交通事故抑止に反映させていってほしい。」との発言があった。

委員から「効果的なアンケートを実施していただいた。どのような反射材の形状が着用してもらい易く交通事故抑止に効果的かを検証し、より効果的な反射材を選ぶことが大切だと思う。」との発言があった。

委員から「アンケートは良いアイデアであり、対策までの流れがよく組み立てられている。交通安全教室に出てこない人にも反射材を配布するなど、高齢者の交通死亡事故ゼロに向け効果的な施策を推進してほしい。」との発言があった。

2 個別決裁等

公安委員会委員による視察活動

令和2年8月に実施した公安委員会委員による警察活動の視察に係る申・通報について報告を受け、これを決裁した。

3 運転免許の処分関係

本日（9月3日）実施した道路交通法違反等に関する意見の聴取6件の実施結果と処分内容に関する説明を受け、原案のとおりこれを決定した。